

各位

2019年2月8日  
KNT-CTホールディングス株式会社  
総務広報部（広報）担当：岩本  
TEL：03-6863-0048

### 旅行取扱状況の概観（平成30年12月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト北海道、近畿日本ツーリスト東北、近畿日本ツーリスト関東、近畿日本ツーリスト首都圏、近畿日本ツーリスト中部、近畿日本ツーリスト関西、近畿日本ツーリスト中国四国、近畿日本ツーリスト九州、近畿日本ツーリストコーポレートビジネス、KNT-CT グローバルトラベル、KNT-CT ウェブトラベル、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

#### 記

海外旅行の取り扱い、一般団体は前年比107.4%と前年を上回り、学生団体は同140.6%と前年を上回り、団体旅行合計で同123.4%と前年を上回った。企画旅行については前年比106.2%と前年を上回り、個人旅行については同115.5%と前年を上回った。

この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比113.5%と前年を上回った。

国内旅行の取り扱い、一般団体は前年比108.8%と前年を上回ったが、学生団体は同92.0%と前年を下回り、団体旅行合計で同97.3%と前年を下回った。企画旅行については前年比108.6%と前年を上回り、個人旅行については同100.4%と前年を上回った。

この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比103.3%と前年を上回った。

外国人旅行は、前年比116.9%と前年を上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の12月の総取扱額は前年比107.2%となり、前年を上回った。

#### 【区分別の状況】

##### 1. 海外旅行

海外団体については、一般団体は、各種イベントや企業の報奨旅行などの取扱人数の増加により、前年比107.4%と前年を上回った。学生団体は、修学旅行の取扱の増加および研修旅行やクラブ遠征などの取扱人数の増加により、同140.6%と前年を上回った。この結果、海外団体旅行合計で前年比123.4%と前年を上回った。

海外企画旅行については、前年比106.2%と前年を上回った。商品別では、ホリデイは方面別取扱人数の状況で、アメリカ方面や一部商品のクラブツーリズム商品への一体化の影響があるヨーロッパ方面などが前年から減少したが、アジアやマイクロネシア、ハワイ方面などが好調に推移した。クラブツーリズムは、ヨーロッパでは東地中海（エジプト、トルコ）、北欧、英国、ドイツが好調で、クルーズでもヨーロッパが堅調であった。また好調であったアジアがやや鈍化傾向にあり、北米やハワイ、オセアニア方面は低迷が続いている。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前年比113.5%と前年を上回った。

##### 2. 外国人旅行

外国人旅行は、海外エージェントの取扱が増加したほか、個人旅行の宿泊商品が好調に推移し、前年比116.9%と前年を上回った。

##### 3. 国内旅行

国内団体については、一般団体は、スポーツイベントや企業の報奨旅行などの取扱人数の増加により、前年比108.8%と前年を上回った。学生団体は、クラブ合宿や遠征、各種大会などの取扱人数が増加したが、修学旅行の取扱人数の減少により、同92.0%と前年を下回った。この結果、国内団体旅行で前年比97.3%と前年を下回った。

国内企画旅行については、前年比108.6%と前年を上回った。商品別では、メイトは方面別取扱人数の状況において、九州や関西方面などが低調であったが、首都圏、沖縄方面などは好調に推移した。クラブツーリズムは、西日本のふっこう割商品や中部、北陸、関西、伊勢、沖縄、離島の販売が好調に推移し、低迷が続いていた北海道方面もふっこう割商品により好調に推移した。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前年比103.3%と前年を上回った。

以上